

| 科目名 Course Name | | 開講年次 | 開講学期 | 曜日・時限 |
|---|-----------------------------------|-------------|----------------|--------------------|
| 生活支援技術Ⅶ Independent Living Skills Ⅶ | | 2年 | 前期 | 別途、時間割参照 |
| 単位数 | 授業の形態 | 授業の性格 | | 履修上の制限 |
| 1単位 | 演習 | 選択 | (介護福祉士養成課程 必修) | 介護福祉士養成課程の2年生のみ履修可 |
| 当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目 | | | | |
| 特になし | | | | |
| 同時に履修しておくことが望まれる科目 | | | | |
| 特になし | | | | |
| 担当者に関する情報 | | | | |
| 氏名 | 研究室の場所 | オフィスアワー | | 電話番号・メールアドレス |
| 岩田 健 | 福祉棟2階 | 初回授業にて説明する。 | | 授業中に指示します |
| 授業の概要 | | | | |
| 精神障害および知的障害の原因疾患や特性、個々の生活障害を理解し、その介護・援助の視点と留意点について学ぶ。また、保健・医療と福祉関係者との連携のあり方についても学ぶ。そして、メンタルヘルスの概念を理解し、心の健康について考える機会とする。 | | | | |
| 授業の目標 | | | | |
| ①精神障害および知的障害の特性がわかり、介護・援助の視点を説明できるようにする。 ②メンタルヘルスの概念を理解し、心の健康を保つ工夫を考えることができるようにする。 | | | | |
| 授業の方法 | | | | |
| 演習科目であるが、講義が中心となる形式である。精神障害者の適切な把握のために、精神障害者施設関係者の講話を取り入れ、ディスカッションの機会とする。 | | | | |
| 学習の成果（学習成果） | | | | |
| ①精神障害および知的障害の障害特性から、介護に必要な視点を説明することができる。 ②自己の心の健康について考える機会とすることができる。 | | | | |
| 授業のスケジュールと内容 | | | | |
| 第1回目 | ガイダンス（シラバスにそって） 既習学習「障害の理解Ⅰ・Ⅱ」の復習 | | | |
| 第2回目 | 精神疾患の基礎知識① 統合失調症 | | | |
| 第3回目 | 精神疾患の基礎知識② 気分障害（躁うつ病を中心に） | | | |
| 第4回目 | 精神疾患の基礎知識② 薬物依存症（アルコール依存症を中心に） | | | |
| 第5回目 | 精神障害者の特徴と介護・援助の視点① 統合失調症を中心に | | | |
| 第6回目 | 精神障害者の特徴と介護・援助の視点② 気分障害を中心に | | | |

| | | |
|---|--|--|
| 第7回目 | 精神障害者の地域生活、医療の現状、 地域生活に必要な条件精神障害者の地域生活を支える支援と制度、保健・医療・福祉関係者との連携 | |
| 第8回目 | 精神障害者の理解 精神障害者施設関係者の講話（両毛病院 職員）（レポート1 提出：第9回目） | |
| 第9回目 | 「メンタルヘルス」課題提示(レポート2 提出：第13回目) 知的障害の概念とその理解および捉え方、ノーマライゼーションの概念 | |
| 第10回目 | 知的障害の原因と特徴 | |
| 第11回目 | 知的障害児（乳幼児期・児童期）の特徴と介護・援助の視点 | |
| 第12回目 | 知的障害者（成人期・高齢期）の特徴と介護・援助の視点 | |
| 第13回目 | 地域生活と社会参加 必要な条件と支え | |
| 第14回目 | 知的障害者の理解 事例紹介または視聴覚教材 | |
| 第15回目 | 障害を持つ人の加齢と生活障害、まとめ | |
| 事前・事後学習 | ITや図書館を活用して、授業で不明であった点は必ず次回授業までに調べておくこと。また、科目担当者に質問に行くこと。 | |
| 成績評価の方法と基準 | | |
| 評価の領域 | 割合 | 評価の基準 |
| 授業参加態度 | 20% | 配布資料をもとに自主的にメモしている。提示した資料やテキストは必ず持参している。 |
| レポート | 30% | 1：講話後のレポート S：感想文にとどまらず学びを明確に記述している。（10%） 2：メンタルヘルスのレポート S：社会人となってからどのように向き合うかを考え、具体的に記述している。（20%） |
| 調査報告書 | | |
| 小テスト | | |
| 試験 | 50% | 介護福祉士国家試験（筆記試験）に準じた選択形式の筆記試験である。 |
| 発表内容（態度含む） | | |
| その他 | | |
| 教科書と参考図書 | | |
| 教科書：新・介護福祉士養成講座 「生活支援技術Ⅲ」 中央法規出版 | | |
| 履修上の留意点・ルール | | |
| 心の健康について、ライフサイクルを通して考えていく機会としてほしい。講話については日程や関係者等を変更する場合がある。 | | |